

**HUMANE
INTERNATIONAL
NETWORK
(HINT)**

—————HINT News Letter No. 47 目次—————

- Page1: コンゴの子供たちの危機
Page2-3: 報告 HINT アフリカ奨学生
Page4: 現地 NEWS エボラ出血熱の発生
Page5: 2018 HINT 世界の視座
Page6: アフリカ映画の窓
Page7: 会費納入者・寄付者及び物品寄贈者名簿、
事務局からのお願い
Page8: 事務局からのお知らせ

コンゴの子供たちの危機

2018年5月11日付、アフリカのコンゴ民主共和国の（南西部）カサイ地域では、5歳未満児の77万人が急性栄養不良に陥っており、中でも40万人は重度の栄養不良で命の危険があるとした報告書を、ユニセフ（国連児童基金）が発表しました。

さらにユニセフは、人道支援を強化するために緊急に行動を取らない限り、死亡する子供も数が急増しかねないと警鐘を鳴らしています。カサイ地域では、2016年に紛争が勃発して以来、数十万人が自宅やコミュニティからの避難を余儀なくされました。戦闘は小康状態にあるものの、子供230万人を含む約380万人が人道支援を必要としています。「紛争と避難生活は、カサイ地域の子供たちに壊滅的な影響をもたらしています」と、カサイ地域の視察訪問を終えたユニセフ事務局次長ファトゥマタ・ンジャエは次のように述べました。「何千人もの避難民の子供たちは何カ月もの間、保健、安全な飲み水や教育といった基本的なサービスを受けることができず、多大な苦難を強いられています。状況が改善しつつある今こそ、政府と人道支援団体は、国際社会の支援を受けながら、手遅れになる前に、子供たちの命を守る支援のために立ち上がらなければなりません」。カサイ地域の子供10人に1人が重度の急性栄養不良に陥っています。200カ所以上の保健センターが、紛争中に略奪、放火、または破壊されました。400校以上の学校が攻撃を受け、あるいは軍事目的に使用され、100校が破壊された。44万人の子供が、2017年の学年を修了できませんでした。何千人もの子供が、武装グループに徴兵・徴用されています。カサイ地域の武装グループに所属する人々の60%は子供たち。暴力の影響で子供たちの定期予防接種は中断され、地域は現在、コレラやはしかの集団発生に直面しています。（引用元：ユニセフ報告書『カサイ地域：子供たちの危機（原題：Kasai: A children's crisis）』より）



HINT（（特活）ヒューメイン・インターナショナル・ネットワーク）は、1994年に発生したアフリカのルワンダ虐殺時の難民支援のために創設された東京都認証NPO（非営利活動）法人です。現在はイエス・キリストの教えにしたがい、開発途上国における教育や保健医療、農村開発などを通じて、国境を超えた支援活動を続けています。コンゴ民主共和国の東部地域やベトナムの農村地域などへの、息の長い継続が必要な奨学金運営では20年以上の実績があり、教会や他団体との連携を活かしつつ、貧困状態が続く地域で多くの人材と希望を育てています。

報告 HINT アフリカ奨学生

現地コーディネーターのタデー氏より、2017年度の奨学金報告を申し上げます。

ムサギ. K. タデー

現在の報告書に関しては、OLEMBO OTCHA Ambroise 事務局長と MUSAGHI K. THADDEE コーディネーターの病気のために準備ができていませんでした。しかし、今は非常に順調です。本報告書は、奨学生の2017年のレポートです。



中高の奨学生たち

A. 2018年の在籍者：

私たちには26人の学生がいます。小学校 (EEP) 7名; 高等学校 (HSE) 17名、大学プログラム (PAETA) 4名です。これらの学生は、コンゴ民主主義共和国のブカブ州の悪い社会的および政治的状況による多くの困難な状況で、HINTの皆さまのご支援を受けました。私たちの生徒のリストとその学校活動の成績を参照してください。全体をまとめると、この結果は満足いくものでした。

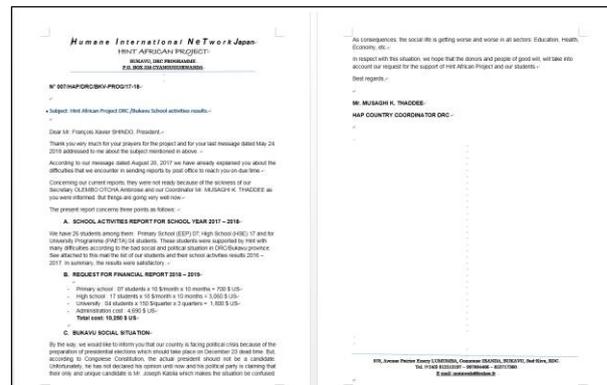
B. 財務報告と2019年度の要請：

小学校：7人の学生×10米ドル/月×10ヶ月=700米ドル
 高校：17人の学生×18米ドル/月×10ヶ月=3,060米ドル
 大学：4人の学生×150米ドル/四半期×3四半期=1,800米ドル
 管理費：4,690米ドル
 総費用：10,250米ドル

C. ブカブの社会状況：

12月23日には確実に行われるべき、コンゴ民主共和国大統領選挙の準備のために、我が国が政治危機に直面していることをお知らせしたいと思います。しかし、コンゴ民主共和国憲法によると、現在の大統領は候補者ではありません。残念ながら、彼は今まで彼自身の意見を表明しておらず、彼の政党は、唯一のユニークな候補者が状況を混乱させるジョセフ・カビラ氏であると主張しているのです。結果として、社会生活は、教育、健康、経済などあらゆる分野で悪化しています。

このような状況の中で、私たちは、多くの支援者の方々と善意の人々が、ヒント・アフリカン・プロジェクトと私たちの学生の支援の要請を考慮していただくことを願っています。どうかよろしくお願いいたします。



現地報告書 (サマリー)

**HINT AFRICAN PROJECT
D.R. CONGO - BUKAVU PROGRAMME
SCHOOL ACTIVITIES RESULTS
SCHOOL YEAR 2016 - 2017**

A. PRIMARY SCHOOL (EEP)

N°	Name and post name	Sex	School Name	Date of Birth	%	Class	Observations
01	Gérard FUNGAFUNGA	M	EPA YUKU	28/05/2003	69.0	5 ^e	Obtains his certificate
02	Jordan ISHARA	M	C.S. LA SAGESSE	27/07/2003	73.0	6 ^e	Obtains his certificate
03	HEWA Thaddee	M	EP. HODARI	02/01/2006	81.5	6 ^e	Obtains his certificate
04	LUZINDYA, M. Germain	M	Lycee International	04/10/2006	74.6	3 ^e	Distinction
05	OMONGE Suli Françoise	F	EP HODARI	06/05/2003	59.0	6 ^e	Obtains her certificate
06	SALAMA Bengana	F	EP IBANDA	24/09/2005	60.0	5 ^e	Satisfaction
07	Victorine MUSAGHI	F	C.S. La Vérité	24/09/2010	74.0	2 ^e	Distinction

B. HIGH SCHOOL (HSP)

N°	Name and post name	Sex	School Name	Date of Birth	%	Class	Observations
01	Agnès MAFANGO	F	EDAHOSP	09/10/1998	56.0	6 ^e M.P.	Satisfaction
02	Augustine MWAKYUMA	F	C.S. LA SINCERITE	28/09/1999	55.0	6 ^e H.P.	Obtains her High School State diploma
03	ASINA Mirangu	F	Institut KASALI	12/01/2003	55.3	2 ^e C.O.	Satisfaction
04	Hélène WABULA	F	Institut KASALI	18/06/1995	41.9	4 ^e SC	Satisfaction
05	Junior MUNGUMA	M	Institut MUNZHIRWA	14/04/1993	57.5	5 ^e SC	Satisfaction
06	KARUKUSI Erienne	M	Institut MAATI	09/01/1985	52.8	4 ^e Educt	Satisfaction
07	Lea ALUMASI	F	Institut Mgr. BYAYENE	18/08/2003	56.5	2 ^e C.O.	Satisfaction
08	MISHUBO Kyemansuzi	M	Institut KASALI	30/08/2002	47.5	2 ^e C.O.	Failure
09	MUSAGHI Kilangileto Junior	M	Institut SAHATI	18/11/2000	62.4	5 ^e THS	Satisfaction
10	OLEMBO Omka Rita	F	C.S. la PAIX	04/07/2001	52.0	3 ^e HP	Satisfaction
11	OLEMBO Shako Ricardo	M	Institut ALFAJIRI	03/04/2002	73.0	5 ^e SC	Distinction
12	SIFA Mulumposherwa	F	Institut TEBURA	08/02/2000	61.3	4 ^e THS	Satisfaction
13	WANY Musaghi	F	EPI IBANDA	11/05/2001	65.0	1 ^{re} C.O.	Satisfaction
14	ZAINA Efangi	F	C.S. LA VERITE	05/02/2001	56.0	2 ^e C.O.	Satisfaction

C. UNIVERSITY PROGRAMME

N°	Name and post name	Sex	School Name	Date of Birth	%	Class	Observations
01	Dorothée MUKAMBILWA	F	U Martin Luther King	18/12/1994	-	G3 Public Health	Not yet
02	FAIDA Mbizi	F	UEA/BUKAVU	08/03/1994	-	G3 Sc. Social	Not yet
03	MIRANDA MASHANGO	M	UEA/BUKAVU	18/02/1991	-	Doc 4 Medicine	Training
04	WANGHA Musaghi	F	UEA/BUKAVU	21/12/1998	-	G1 Bio Medical	Not yet

Done at Bukavu, on August 24, 2017.
M. MUSAGHI K. THADDEE
 HAP COORDINATOR DRC/BUKAVU

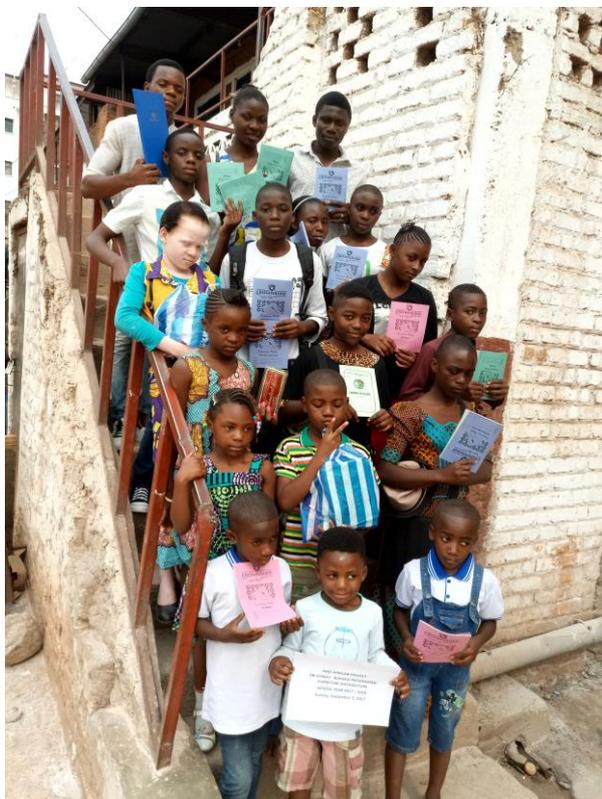
成績結果



高校生



小学生



小学生と中高生



大学生

現地 NEWS エボラ出血熱の発生

2018年5月16日現在、エボラ出血熱の集団発生がコンゴ民主共和国北西部の赤道州で続いているとの報告です。以下に国境なき医師団

(MSF) の報告と国立感染症研究所 (NIID) の資料を抜粋し、掲載させていただきます。

■都市部での感染を確認

2018年5月16日には新たに1人の感染が州都ムバンダカで確定した。感染者が都市部で発見されたことで状況は深刻さを増し、感染者の隔離や接触者の追跡調査、感染者の早期発見の重要性が高まっている。国境なき医師団 (MSF) は現地保健省や他団体と緊密に連携して、ムバンダカと流行発生地の両方でエボラまん延の阻止に向けて対応を拡充している。

ムバンダカはコンゴ川に面した人口100万人以上を擁する河川交易が盛んな都市。今回のエボラ流行の発生地であるトゥンバ湖東部のビコロ地区からは120キロほど北に位置する。赤道州では既に合計42人に出血熱の症状があり、うち2人がエボラと確定、20人は可能性が高く、20人は疑い例とされている。これまでのところ23人が死亡した。現在、514人が感染者と接触した可能性があるとして保健当局から通知を受け、医学的監視下に置かれている。

MSFの緊急対応チームは既に現地入りし、ムバンダカの拠点病院 (5床) と、ビコロ病院 (10床) に隔離区画を設置したほか、エボラ治療センター (各20床) の設置もそれぞれ進めている。近日中には、数トン分の医療品や感染制御物資をムバンダカに届ける予定だ。MSFのスタッフは、エボラ対応の経験豊富な医療従事者、感染制御の専門家、ロジスティシャンが選ばれ派遣されている。

ムバンダカでMSFの緊急対応コーディネーターを務めるヘンリー・グレイは「コンゴでのエボラ発生は過去40年で9回目となりますが、これまでは全て遠隔地域で発生し昨年の発生でも大きな流行にはいたりませんでした。しかし今回新規症例が都市部で確認されたことで状況は変わり、方針の転換が必要となりました。今後は追跡調査を強化して感染経路を把握することがさらに重要となります」と話す。

(引用元：国境なき医師団〈MSF〉HP「エボラ出血熱：コンゴ民主共和国の都市部で新規症例」より)

■エボラワクチン、治療薬の開発状況

現在までのところ、エボラウイルスに対する効果的なワクチンおよびエボラウイルス病に対する有効な治療薬は確立しておらず、治療は対症療法のみに限られている。

下痢で脱水症状を起こしている患者への点滴、併発感染症を避けるための抗菌薬や播種性血管内凝固症候群 (DIC) に対する抗凝固薬等、また、鎮痛剤や栄養治療食、ビタミン剤の投与などにより、少しでも長く小康状態を保ち、患者自身の免疫力による回復を待つ対症療法が治療の基本である。エボラウイルスに対する抗体が検出されるようになると急速に回復に向かい、感染したウイルスに対して免疫が誘導されるが、その免疫が終生続くかどうかはまだ不明である。

これまでにエボラウイルスの増殖を抑制するような抗ウイルス薬の探索がなされてきており、いくつか候補薬剤が開発されているが、現時点ではエボラウイルス病に対して有効性が証明されたものはなく、一部を除いては臨床応用の段階にも達していない。

現在、臨床試験等で効果を検証している候補治療薬としては以下のものが挙げられる。

- ・ ブリンシドフォビル (Brincidofovir)
- ・ ファビピラビル (Favipiravir)
- ・ TKM-エボラ
- ・ MB-003 (ZMapp)
- ・ BCX4430
- ・ AVI-7537

候補ワクチンについても現在開発中のもの、臨床試験が行われているものは以下の通り。

- ・ NIAID/GSKエボラワクチン (VRC207)
- ・ Newlink/Merckエボラワクチン (VSV-ZEBOV)
- ・ エボラΔVP30ウイルスワクチン

以上、現在開発が進められている代表的な治療薬およびワクチンについて記載した。他にも書ききれなかった多くの候補薬が世界各国で開発中である。こうした新薬を研究し、いち早く患者に投与できるようにすることは重要であるが、現在行われている対症療法や合併症の治療を充実させることでも、エボラウイルス病患者の致命率を低下させることができる可能性が示唆されている。

(引用元：国立感染症研究所〈NIID〉HP「エボラワクチン、治療薬の開発状況」より)

2018 HINT 世界の視座

国内の政治状況と、混迷を深める国際情勢は、互いにさまざまな影響を与え合いながら動き続け、止まることはありません。HINT講演会にもご登壇いただいた黒川氏の国際的な視点です。

時は政治なり

元ウクライナ大使 黒川祐次

朝鮮半島では、大韓帝国時代はUTC（協定世界時）+8:30であったが、日本の韓国併合により1912年よりは日本と同じくUTC+9:00となった。1945年の解放以後も、そして1948年の韓国・北朝鮮それぞれの建国の後も日本と同じ標準時がそのまま使われた。しかし、北朝鮮は、日本からの解放70周年となる2015年に、「日帝は朝鮮の標準時まで奪った」として大韓帝国時代と同じく、日本・韓国より30分遅れたUTC+8:30に変更した。今回、それを韓国に同調して元に戻したわけである。

このように標準時の設定は、単にその国が地球の経度上どこに位置しているかだけではなく、その国の独立性、あるいは特定の国から自立していることを示す政治的あるいは外交的な姿勢を象徴的にあらわすために使われることがある。北朝鮮は、一時は過去の日本や、その当時の韓国への反発から30分遅らせたが、今回は南北一体感を演出するため、それを戻して韓国と同一にしたものである。

私が今次のこの問題で既視感を覚えるのは、以前同様なことを経験したからである。それは、私自身が1996年から1999年まで駐ウクライナ大使をしていた時のことであった。ウクライナは、かつてはソ連の一部であり、その際にはその経度上の位置からすればグリニッジより2時間早い時間（UTC+2:00）が妥当であったが、現実にはソ連の中央集権体制によりモスクワに合わされて、3時間早いUTC+3:00にされていた。

それが、ソ連が解体してウクライナが独立すると、1992年に新生ウクライナ政府はモスクワ時間を離れて1時間西欧に近づけ、UTC+2:00とした。これは、標準時をウクライナ

の地理に合わせて変えたという意味では自然な行為であるが、同時に、ロシアとは別な国であるという独立の意思表示であり、更には今後はもっと西欧寄りで行っていききたいとの願望の表示でもあった。

ところが問題はこれだけで終わらなかった。独立当初は、ウクライナの中でロシア人が過半数を占めるクリミア半島ではロシアへの編入の動きが強く、クリミア地方政府は1994年にクリミア時間を新しいウクライナ時間からモスクワ時間に戻す決定をした。ウクライナの中央政府は当然のことながらこれを認めなかったため、クリミアではモスクワ時間とウクライナ時間が並立することとなった。これにより日常生活で数々の不都合が生じた。私もクリミア地方政府の首相と会うため首都のキエフからアポイントメントを取って現地に向いたら、こちらはウクライナ時間のつもり、先方はモスクワ時間のつもりで食い違いが生じ、大慌てしたことがあった。

その後、紆余曲折があり、1998年にウクライナ憲法裁判所の判決が下り、モスクワ時間は廃止され、混乱は収束した。その後、クリミアではロシア編入熱も冷め、この件は蒸し返されることもなかった。

ところが、2014年にキエフでいわゆるマイダン（広場）革命が起き、親ロシア政権が倒されると、ロシアのプーチン大統領は軍隊を送ってクリミアを制圧し、クリミアをロシアに併合してしまった。そうすると、ロシアの一部とされてしまったクリミアがモスクワ時間に戻されるのは必然であった。このように、ウクライナ、特にクリミアの標準時は時の政治の動きに合わせて変化したのである。

本来、標準時というものは、その地に住む人々にとり自然の動きと生活が最も一致するように設定されるべきであり、それはその地の経度から客観的に、しかもごく簡単に割り出されるもので、政治が介入する余地などありえないはずのものである。しかるに現実には、この朝鮮半島、ウクライナ、特にクリミアの例は、標準時、あるいは特定国との時差というものがいかに政治的・対外的政策的に変えられてしまうのかを如実に示している。「時はカネなり」といわれるが、「時は政治なり」ともいえるのではないか。

アフリカ映画の窓

高倍宣義



アフリカは、イスラム過激派の活動や民族・宗教対立が一部で見られるが、よい兆しもある。エチオピア、ジンバブエ、南アフリカ、リベリア、シエラレオネの民主的な政治的变化には勇気づけられる。また、国連平和維持軍は

コートジボワールやリベリアから部隊が撤収し、アフリカでの展開は7カ国・地域に減った。

5月のカンヌ映画祭の「ある視点部門」で、ケニアのワヌリ・カヒユ監督作「Rafiki」(スワヒリ語で友達)が上映される。ナイロビの2少女が友情からお互いを愛するようになるドラマだ。

「特別上映部門」ではニコラ・シャンポーとジル・ポルト両監督によるドキュメンタリー★「The State Against Nelson Mandela and the Others(原題)」に注目したい。1963-64年にマンデラ等を被告とする裁判の記録をまとめたもので大統領マンデラ(1918-2013)の生誕100周年記念作。いずれも本邦公開を期待したい。

★「わたしはあなたのニグロではない」I Am Not Your Negro

監督：ラウル・ペック (ルムンバの叫び)
原作・出演：ジェームス・ボールドウィン
Remember this House]

語り：サミュエル・L・ジャクソン
アメリカ、フランス、ベルギー、スイス/2016/
英語/カラー/DCP/93分/原題「I AM NOT YOUR
NEGRO」 日本語字幕：チオキ真理 字幕監修：
柴田元幸 配給・宣伝：マジックアワー

5月12日(土)よりヒューマントラストシ
ネマ有楽町ほか全国順次ロードショー
公式サイト：

www.magichour.co.jp/iamnotyournegro/



ラウル・ペック監督(左)と
出演のジェームス・ボールドウィン(右)

ハイチ出身の監督が、小説家であり公民権運動家のJ・A・ボールドウィン(1924-87)の未完作「Remember This House」をもとに作ったドキュメンタリー。凶弾に倒れた3人の公民権運動家、メドガー・W・エヴァース(1925-1963)、マルコムX(1925-65)、マーティン・L・キングJr(1929-68)の足跡を追い、古典的な映画の断片、ニュース、ボールドウィンの対談・討論を織り込み、黒人問題を巡るアメリカ人の心と社会の亀裂・ねじれを掘り下げ、解明し、訴える。

受賞歴：

第71回英国アカデミー賞 最優秀ドキュメンタリー映画賞/第43回セザール賞(仏アカデミー賞) 最優秀ドキュメンタリー映画賞/第89回アカデミー賞 長編ドキュメンタリー部門ノミネート/第67回ベルリン国際映画祭 パノラマ部門観客賞 エキュメニカル審査員賞/第41回トロント国際映画祭 ドキュメンタリー部門観客賞/2017 山形国際ドキュメンタリー映画祭 優秀賞/第7回黒人映画批評家協会賞 特別賞/第52回シカゴ国際映画祭 ドキュメンタリー部門観客賞/第19回テルアビブ映画祭 外国映画賞/2017 ダブリン映画批評家協会賞 ドキュメンタリー映画賞/第18回ゴールデン・トレイラー賞 ドキュメンタリー映画賞/第24回ハンプトン国際映画祭 ドキュメンタリー部門観客賞/第32回国際ドキュメンタリー協会賞 脚本賞 他多数。

3月のイスラーム映画祭3で、エジプトの若手人気監督アムル・サラマの

★「エクスキューズ・マイ・フレンチ」Excuse My French(14)を見た。

主人公の少年は、銀行勤めの父親の急死で、経済的事情で私立校から公立小学校に転入する。全員ムスリムの中で、少年ただ一人コプト教徒の学校生活をユーモラスに描いていたドラマ。



エクスキューズ・マイ・フレンチ
LA MOAKHZA
上映時間：93分 / 製作：2014年(エジプト)

会費納入者・寄付者及び物品寄贈者名簿
(2017.11.1-2018.4.30・順不同・敬称略)

米村 富士子	畠山 千秋
進藤 重光	藤枝 伊都子
谷口 義武	上村 武夫
高橋 章	村井 厚子
カトリック松原教会	山田 篤
桃井 和馬	春日井 明
西嶋 久恵	藤井 記雄
森川 浩一郎	武井 弥生
安藤 和彦	オリビエ シェガレ
池田 ゆう子	岡田 直子
岸田 万紀子	古城 かほる
高倍 宣義	佐賀 邦夫
安達 裕美	渡邊 玲子
島田 恒	安藤 秀樹
窪田 愛子	神山 和美
中本 裕之	比嘉 勇也
匿名の皆様	

ご支援・ご協力ありがとうございました。

★左記期間内に会費納入やご寄付をされている方で、名簿に載っていない方は、お手数ですが事務局までご連絡下さい。

★HINT は皆さまの会費で運営されています。年会費 5,000 円で、ベトナムでは約 500 人分の給食を提供できます。コンゴで中高生約 2 人分の 1 年間の学費です。

★封筒ラベルの一番下にある日付が、貴方の最終振込み日です。

★郵便局の振込金受領書は、正式な領収書ですので、大切に保管してください。

★振替用紙は郵便局から事務局にコピーが届きますが、判読しづらい場合があります。楷書で分かりやすくご記入いただきますとたいへん助かります。

HINT 事務局からのお願い

会費振込のお願い

皆さまの会費やご寄付が命綱です。お振り込みは同封の振込用紙を使用していただくか、下記口座へお振込みくださいますようお願いいたします（賛助会員：1口5,000円から・学生会員：1口2,000円から。ご寄付の場合はご随意にお願いいたします）。

■郵便振替：00120-1-596327

口座名義：特定非営利活動法人 HINT

■ゆうちょ銀行：

記号 10010 番号 26990711

（他銀行から振り込む場合 店名：008

種目：普通 番号：26990711）

口座名義：特定非営利活動法人ヒューメイン・インターナショナル・ネットワーク

■三井住友銀行：新宿支店

普通預金：3390001

口座名義：特定非営利活動法人ヒューメイン・インターナショナル・ネットワーク

● 2018 年度の役員・ボランティアを募集します

2018 年度の HINT 役員とボランティアを募集しています。非営利活動を支えるのは、皆さまからの大切な会費収入と同時に、日々の小さな事務作業の積み重ねです。役員は総会で選任され、定期的な理事会に出席し、HINT の実務的な業務をしていただきます。

印刷作業や荷物運び、翻訳などのテンポラリーなボランティアの仕事もあります。登録ボランティアとして、メールアドレスをご登録いただき、ご都合のつく時に、実務的な作業に随時ご協力いただければ幸いです。皆さまの積極的なお申し出をお待ちしています。

ご連絡・お問い合わせ先：

HINT 事務局 E-mail: hint_info@epopee.co.jp

HINT 事務局からのお知らせ

《総会のお知らせ》

日時：2018年6月30日(土) 18:30~19:30
場所：新宿区立戸塚地域センター5F会議室2
東京都新宿区高田馬場2-18-1 TEL:3209-8001
JR・西武新宿線高田馬場駅下車 徒歩1分
2018年度総会を開催いたします。
議題：2017年度活動報告、2017年度決算、2018
年度役員改選、2018年度活動計画、2018年度予
算計画等
どなたでもご参加いただけます。HINTの活
動について、ご関心のある方は是非おいで下
さい。事前のご連絡は不要です。

《活動報告》

● 2018年4月25日 世界マラリアデー イベント企画 【ZERO マラリア 2030 キャン ペーン 2018 狂言「蚊相撲」と日本の マラリア】に協力しました。

- ◆日時：2018年4月25日(水) 17:30~19:20
- ◆主催：ZERO マラリア 2030 キャンペーン(事務局：認定NPO法人Malaria No More Japan) 共
催：上智大学 後援：朝日新聞社/株式会社電通
/UNICEF 東京事務所/UNDP 駐日代表事務所/ワ
イズメンズクラブ国際協会東日本区・西日本区
- ◆会場：上智大学 四谷キャンパス 2号館 17階
国際会議場
- ◆出演者・登壇者：(アイウエオ順、敬称略)
植木安弘(上智大学 国際協力人材育成センター
所長、総合グローバル学部教授)/大藏基誠(能
楽師狂言方)/狩野繁之(国立研究開発法人国立
国際医療研究センター研究所 熱帯医学・マラリ
ア研究部長/Malaria No More Japan 理事)/柏倉
美保子(ビル&メリンダ ゲイツ財団 日本代表)
/近藤哲生(国連開発計画(UNDP) 駐日代表)/
武井弥生(上智大学総合人間科学部看護学科准教
授)/石田一郎(朝日新聞社マーケティング本部長)。参加者は約230名となり、盛会でした。

《今後の活動予定》

● 「第15回 赤羽教会チャリティーコ ンサート Power of your Love!」に参 加します

日時：2018年8月25日(土) 開演 13:30
場所：カトリック赤羽教会 信徒会館 2階
JR 赤羽駅東口徒歩3分

入場料：前売り 1,500円、当日 2,000円

アジア・アフリカの子供たちと大震災復興
支援のためのチャリティーコンサート。どな
たでも気軽に楽しめる楽しい催しです。HINT
はボランティアの方々と共に、支援先の雑貨
を紹介し、PR活動をします。

出演者：

武内良太郎・矢ノ倉あや(ヴァイオリンとピア
ノ)、上智聖歌隊(混声4部合唱の伝統サークル)、
ハーラウ フラ ナネア(フラダンス、ア
ロハの心を伝えて)、Y. B. B. (「平和と愛の光
を伝えたい」と司祭と信徒が活動)、Evergreen
Choir(キッズ・ゴスペルグループの小中高メ
ンバー70名の大編成)、久米小百合(「異邦
人」のミュージック・ミSSIONナリー)



赤羽教会地図

特定非営利活動法人ヒューメイン・インターナショナル・ネットワーク (HINT) 事務局
〒164-0002 東京都中野区上高田 3-24-7 平兵衛内
電話&FAX:03-6279-1080
e-mail: hint_info@epopee.co.jp
ホームページ: http://www.epopee.co.jp/hint